

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 再発肝がんに対する集学的治療の有用性についての検討</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 消化器外科（研究責任者） 緑川 泰</p>
<p><研究期間> 本研究計画承認日 ～ 西暦 2022 年 12 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義> 再発肝がん、とくに肝外転移に対する治療方針はいまだ確立されていない。本研究では手術治療、薬物治療を含めた再発肝がんに対する集学的治療の有効性について検討する</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 研究対象者基本情報:年齢、性別、再発様式、治療内容など 初回肝切除時の病理所見 肝がん再発後の生存期間</p>
<p><対象となる患者さん> 西暦 2000 年 4 月 1 日～西暦 2017 年 12 月 31 日の期間に当院消化器外科で肝がんの手術を施行された患者さんのうち、術後の外来通院中に肝外再発病変を診断された方</p>
<p><研究の方法> 2000 年から 2017 年までの当科で肝細胞がんの手術を施行し、その後再発を認めた 100 例を対象とする。肝外転移を認めた症例に対して外科切除、ラジオ波焼灼術、TACE、放射線療法、分子標的治療薬による治療歴を調べ、治療方法による生存期間について比較検討する。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 消化器外科 氏名:緑川 泰 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2471 (PHS)8211</p>